

社会を明るくする運動

更生保護メッセージ伝達式 及び特別研修会

「社会を明るくする運動」は犯罪や非行の防止、また犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くことを目的とした全国的な運動です。

7月14日（火）に市役所大間々庁舎にて、この運動の理解を深めるため保護司会と更生保護女性会からみどり市長へ更生保護メッセージを伝達しました。

式典終了後、市内のスーパーなどでチラシやティッシュを配り、この運動を周知・啓発しました。

また、7月22日（水）には社明運動特別研修会が開催され出席した役員さんは、桐生警察署長による講話に熱心に耳を傾けていました。



親おやくらぶ(みどり市母子寡婦会) 親子ふれあい交流事業

7月26日（日）・27日（月）に親おやくらぶ主催「親子ふれあい交流事業」を実施し、栃木県のなかがわ水遊園と那須ハイランドパークへ出かけました。

13世帯35人の親子が参加し、親子はもちろん、参加者同士の交流も深めながら、楽しい夏の思い出を作ることができました。参加者からは、「なかなか遠くまで連れて行けないから参加できて良かった」「親子や友だちと楽しめる旅行だった」などの声が寄せられました。

親おやくらぶでは今後もボウリング大会などを計画中です。ぜひ参加してみてくださいね！



※この事業を機に1世帯が親おやくらぶに入会しました。新規入会も随時受付中です！

大間々老人憩の家 納涼カラオケ大会

8月7日（金）大間々老人憩の家にて納涼カラオケ大会を実施しました。当日は20名の方が思い思いの一曲を披露。情感豊かで力強い歌声が会場全体に響きわたりました。優勝は東宮きぬ子様でした。おめでとうございます。



災害ボランティアセンターへの職員派遣

みどり市社協では、桐生市社協及び太田市社協が7月の豪雨災害により開設した災害ボランティアセンターへ応援職員の派遣を行いました。

現地では、ボランティアとニーズのマッチングや被災者宅での復旧作業などを行いました。

なお、みどり市社協と桐生市社協、桐生青年会議所は災害時の協定を結んでおり、今回の災害では桐生青年会議所の有志も桐生市災害ボランティアセンターの活動に参加されました。

今後も災害時には、近隣社協と相互に協力していきます。



●大間々町 地域住民の活動紹介●

● 大間々町第15区（小平地区）

7月26日（日） 星の山郷ブルーベリー園（小平地区）で地元の80歳以上の人を招待してブルーベリー狩りを行いました。今年で3年目となり、主催の園田一男福祉部会長は「出かける機会や、みんなが交流できる場所を作りたい。みんなの笑顔を見ると開催して良かったと感じる。」と話していました。

協力してくれた星の山郷ブルーベリー園は普段は販売のみですが、この日は地元のために、特別に摘み取りを開園してくれました。

参加者は、大きなブルーベリーを口いっぱい頬張り、笑顔で会話に花を咲かせていました。



今後もさまざまな地域の活動を紹介していきます。